

大野っ子



大野小学校だより
2020年 1月27日
文責：校長 矢倉 信正

2020年もよろしくお祈いします

～3学期は「笑顔・ありがとう・がんばり」を増やす～

1月8日（水）、3学期の始業式で、子どもたちに「子年」と「3学期の取組」についての話をしました。

○子年（ねどし）の「子」

干支は、かつて方位や時刻を表すことに使われていました。今では動物で表していますが、もともとは植物の生長の様子（種・芽が出る・葉がでる・花が咲く等）を表したものだそうです。

「子」は、種子の中に新しい生命がきざし始めることをさしています。3学期は、今の学年の「仕上げ」と次の学年の「準備」をする学期です。みなさんも自分の中に、新しい芽を出すための準備をして、その力をつけてほしいと思います。



○3学期は「笑顔・ありがとう・がんばり」を増やす

3学期も「自分・まわりの人・目標」を大切にしてお祈い中で、3つのことを増やしてほしい。

- ・自分を大切にする → 「笑顔」を増やす
- ・まわりの人を大切にする → 「ありがとう」を増やす
- ・目標を大切にする → 「がんばり」を増やす

早いもので、1月ももう終わりです。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われます。短い3学期、早い時間の流れの中で、確実に「仕上げ」と「準備」をしていきたいと思ひます。

2020年もよろしくお祈いいたします。

「飛び出せ学校」感謝状贈呈式

1月24日（金）、6年生が取り組んだ「飛び出せ学校」の感謝状贈呈式がありました。大分合同新聞社の方から、感謝状と新聞記事のパネル、DVDをいただきました。

6年生は、明尊寺の太鼓、沈墮の滝、ピーマン栽培について調べ、まとめたものを新聞記事として発信しました。地域の「人」や「もの」と出会い、思ひや歴史を知る中で、大野町のすばらしさに気づいていきました。

（大分合同新聞2019，12，28夕刊掲載）

学習に協力してくださった方々、このような学習の機会を与えてくださった方々、ありがとうごさいました。

（感謝状贈呈式については、2020，1，25朝刊に掲載）



先日、東日本大震災時に陸前高田市立気仙小学校校長として避難誘導・対応にあられた「菅野祥一郎さん」の講演を聞きました。連日報道される子どもたちに関わる事件・事故と合わせ、生命の大切さと生きることについて考える機会となりました。



日中は温かく、朝晩は寒いというように、寒暖の差が大きくなっています。外で遊んで上着を脱いだら……。体調管理とともに、自分の服や持ち物の管理にも十分気をつけるよう家庭でも話をしてください。